

京都教育大学附属特別支援学校 学校経営方針

1. 本校の社会的使命

- (1) 大学の附属特別支援学校として、小学部・中学部・高等部を通して、知的障害のある子どもたちの自立を目指す一貫教育を行う。
- (2) 学部・専攻科・大学院学生の障害児教育実習や介護等体験などを実施・指導する。
- (3) 研究校として大学との研究協力をすすめ、教員の専門性を高め、教育理論の実証と創造的実践の成果を発表し、教育実践における先導的役割を担う。
- (4) 大学の附属特別支援学校として、センター的機能を担い、今後の特別支援教育の発展に寄与する。

2. 学校教育目標

生活意欲に富む、個性豊かな社会人を育成する

3. めざす児童生徒の姿

人々と共に生きる社会の中で、意欲に富み、主体的に「ひと」「もの」「こと」にかかわりながら、生活を拓き創っていく。

- (1) 日常生活習慣の確立
- (2) たくましい身体・しなやかな心
- (3) 興味・関心の広がりや深まり
- (4) 人とのかかわり
- (5) 社会参加

4. めざす学校の姿

- ・子どもたちが意欲的に学校生活を創る学校
- ・保護者が子どもの育ちを実感できる学校
- ・安全で安心できる学校
- ・地域とつながり、ともにある学校
- ・大学と連携して教育を推進する学校
- ・教職員がやりがいをもつことができる学校

5. 教育理念

- 一人一人を一貫して大切にす
- 今及び将来を社会で豊かに生きる力を育む